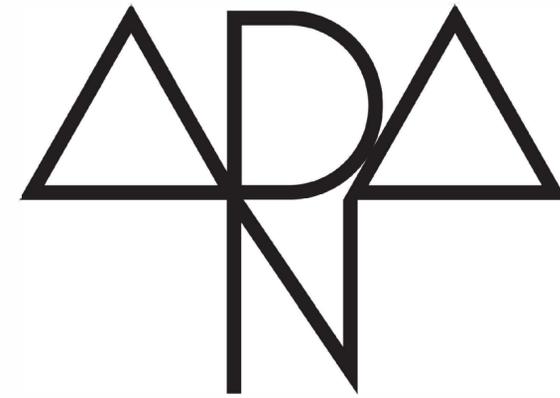
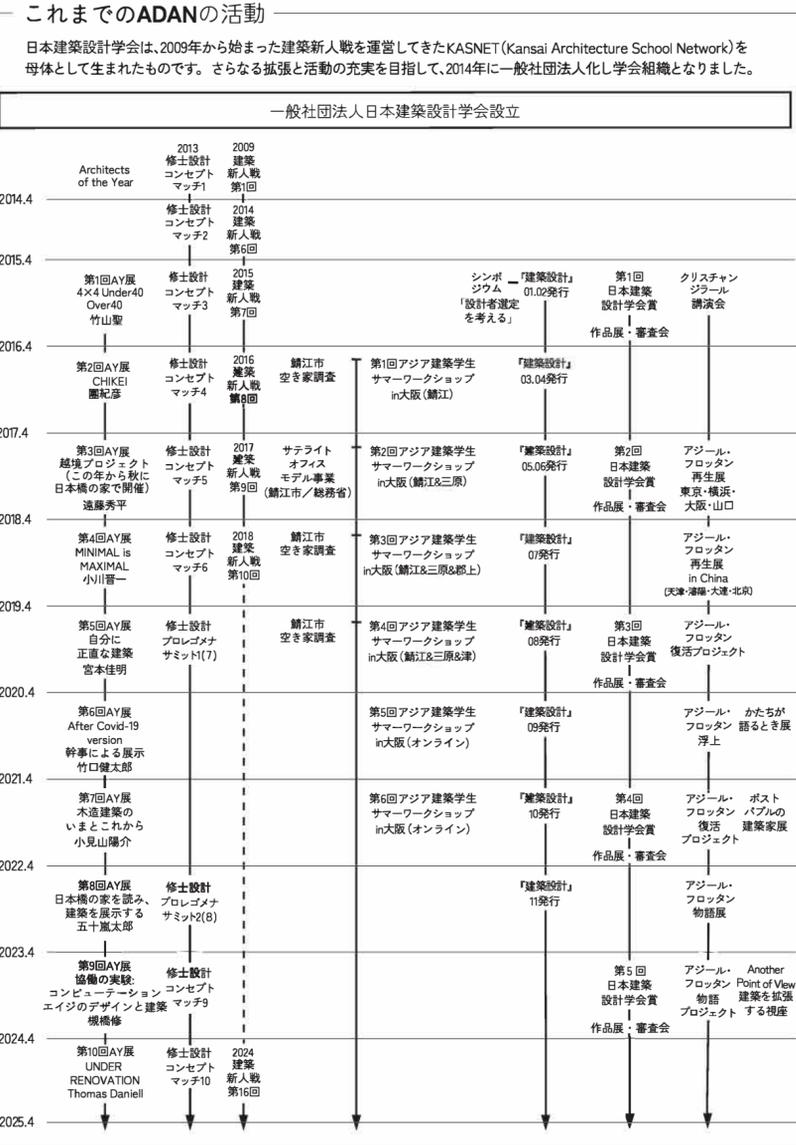


一般社団法人日本建築設計学会役員名簿 理事

日本建築設計学会



ARCHITECTURAL DESIGN ASSOCIATION OF NIPPON

2024

一般社団法人 日本建築設計学会

- 会長 (代表理事)：遠藤秀平
- 副会長：竹口健太郎
- 名誉会長：竹山聖
- | | | | | |
|----------------|-------|-------|------|--------|
| 芦澤竜一 | 五十嵐太郎 | 石原健也 | 乾久美子 | 岩田章吾 |
| 上野武 | 宇野求 | 遠藤克彦 | 岡河貢 | 亀井暁子 |
| 河井敏明 | 北川啓介 | 城戸崎和佐 | 木下光 | 国広ジョージ |
| 小見山陽介 | 隈研吾 | 倉方俊輔 | 光嶋裕介 | 小林克弘 |
| 篠原聡子 | 島田陽 | 末包伸吾 | 末廣香織 | 曾我部昌史 |
| 團紀彦 | 千葉学 | 槻橋修 | 手塚貴晴 | 陶器浩一 |
| 長坂大 | 西沢立衛 | 古谷誠章 | 畑友洋 | 林陽一郎 |
| 堀口徹 | 前田茂樹 | 松岡拓公雄 | 松本明 | 萬田隆 |
| 宮本佳明 | 宗本晋作 | 山口隆 | 吉田晋 | 李暎一 |
| Thomas Daniell | | | | |

監事：林 陽一郎

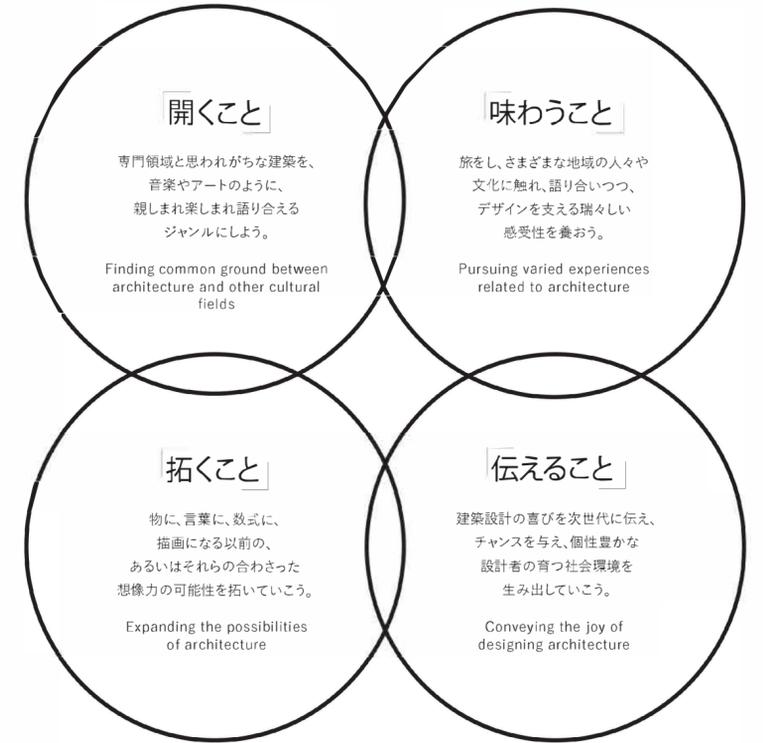
賛助会員

特別賛助会員

- アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社
- 横水ハウス株式会社
- 有限会社田平ガラス

賛助会員

- 株式会社梓設計
- 安土建設株式会社
- 株式会社新井組
- 株式会社アロイ
- 株式会社大林組
- 株式会社キタムラ
- 近未来建築社会実装機構
- クリーンテックス・ジャパン株式会社
- 小池商事株式会社
- 三和シャッター工業株式会社
- 株式会社シュルター
- 清水建設株式会社
- 株式会社ジャクエツ
- 新星商事株式会社
- 大成建設株式会社
- 大和重工株式会社
- 大和リース株式会社
- 株式会社竹中工務店
- 田島ルーフィング株式会社
- 株式会社 TRA・K
- 株式会社東畑建築事務所
- 株式会社西村屋
- 日鉄建材株式会社
- フォルボ・フロアリング B.V. 日本支店
- 株式会社ベにや旅館
- 都築業株式会社
- 株式会社安井建築設計事務所
- 株式会社ユニオン
- 淀鋼商事株式会社



本法人は、建築設計及びその教育に関わる研究者の学術的交流と研鑽の為の組織化、および建築設計領域における総合的な質の向上をはかり、公益に寄与することを目的とする。

具体的には、個人として強靱な思考能力と倫理観を有する次世代建築設計者の育成に寄与し、建築設計の領域に開放性を与えるとともに他領域との連携を強化し、建築設計学並びに建築的思考の可能性を開拓し、国際交流や旅などを通じた経験と知識の蓄積と共有を行い、建築並びに建築設計を文化として味わう喜びを広く世界に知らしむることを目的とする。

一般社団法人 日本建築設計学会 定款より

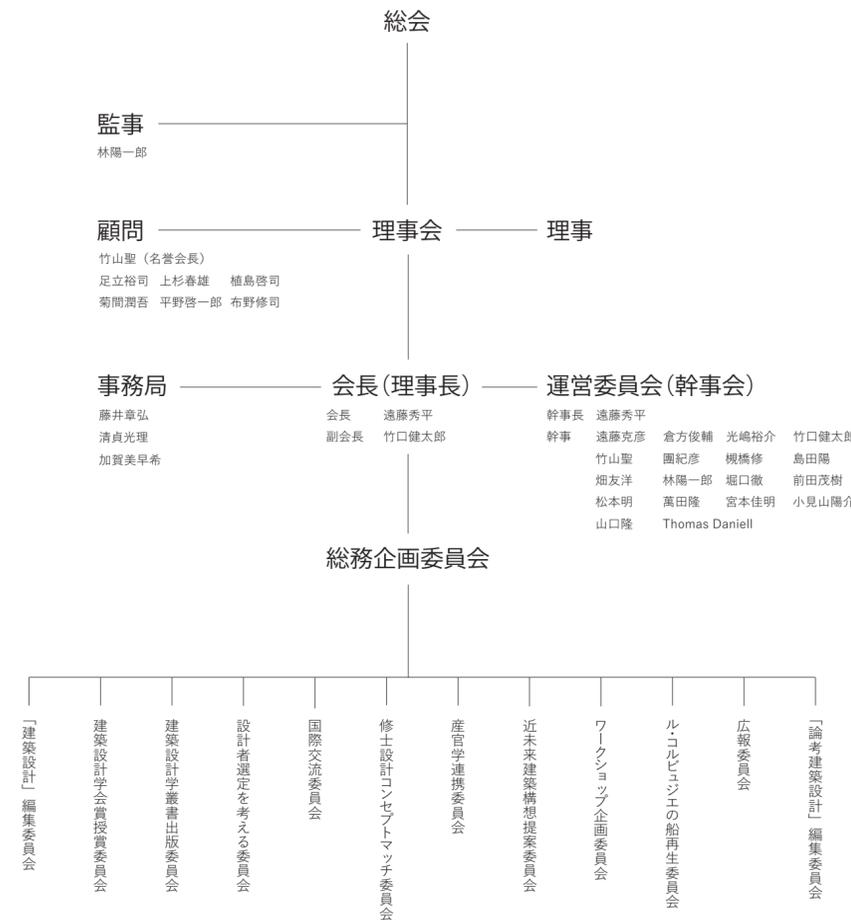
[事務局]

一般社団法人 日本建築設計学会
〒530-0047 大阪府北区西天満2-8-1 大江ビルディング412号
メール: office1@adan.or.jp

www.adan.or.jp

※このパンフレットの情報は、2024年8月現在のものです。

機構表



関西に拠点をおき GlobalとLocalを結びつけます

セーヌ護岸広場におけるワークショップ 2023

「アジュール・フロタン」復活プロジェクトの一環として、2023年6月17日から30日まで、フランス、パリ13区のアジュール・フロタンが係留されているセーヌ川護岸広場にて、奇跡の再浮上を遂げた「アジュール・フロタン」に関わる展示のワークショップを開催しました。展示の目的は第一にアジュール・フロタン(ルイズ・カトリヌ号)の歴史と保存の意義を多くの人に知らしめること、そして、日本との関係性を明示することとしました。基本構造は近年自然災害の被災者避難所にも利用されている、紙管の使い方に着想を得て、紙管を構造に利用し、ルイス・カトリヌ号が難民救援船であった歴史とリンクさせるコンセプトを確定しました。また、100年以上の時間を経てその使用方法を変えて今日まで生きてきたアジュール・フロタンのイメージから、使用材料は極力再利用材を用いました。展示空間はルイス・カトリヌ号船内の構造の基本スパンであり、ル・コルビュジェが柱を設置する位置にも利用した2.4mのスパンをモジュールとしました。船内の1区画と同じ12本の列柱を配置し、これらを構造の一部として利用する合計4つのキューブ型パビリオンをデザインし、各パビリオンにはアジュール・フロタンにまつわる歴史や日本的な要素を解釈して取り入れました。

本パビリオンは、日本からの留学生とパリの学生たち有志、計11名によって管理・運営し、会期中の来訪者は計300名を超えました。また本展は、古賀順子氏、フランク・サラマ氏、マーク・ブルディエ氏をはじめ、ル・コルビュジェ財団、他、多くの皆様様々な形にてご支援、ご協力により開催することができました。



ワークショップの様子



岸川の写真 ©遠藤秀平



川からの写真 ©エルメンドルフ・スターリン

次世代を担う人材を育てる さまざまな発表の場を提供します

Architects of the Year 2023「Experiment of Collaboration / 協働の実験」

2023年10月28日から11月11日までの期間、「ギャラリー日本橋の家」にてArchitects of the Year 2023を開催しました。9回目を迎える本展ではコミッションナーに槻橋修氏を迎え、「Experiment of Collaboration / 協働の実験」というテーマのもとに、槻橋氏からインターネットのネイティブ世代である 30代~40代の9組の建築家が選定されました。テーマの通り、建築・都市の現在・未来について対話(ダイアログ)を重ねながら、デジタル技術を通した「協働の実験」の最新状況と可能性について展示しました。会期中の2日間は「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」との連携イベントとして建築関係者に限らず広く一般の方々にもご来場いただき、来場者は850名を超えました。



展示会の様子

日本橋の家©杉野圭

第9回修士設計コンセプトマッチ2023

修士設計(研究成果を論文内容とともに設計プロジェクトとして表現するプロジェクト型論文を含む)に取り組む全国の建築系大学院学生と大学の枠を超えた建築家講師陣が一堂に会するイベントを開催しました。9大学から15名の学生が参加し、前半は全出展作品を全講師が巡回するポスターセッション形式での発表&質疑、後半は3グループに分けて講師と学生のグループディスカッションを行いました。

開催日 2023年11月25日(土)

会場 名古屋工業大学 NITech Hall



修士設計コンセプトマッチ2023の様子

建築が広く深く愛されるよう 多様な分野と連携します

第5回日本建築設計学会賞

日本建築設計学会賞は、近年、国内に竣工した建築作品を対象として、設計者による自薦のみでなく、誰でも街で見たか好きな建築が他薦可能な、開かれた賞であることを目指しています。選考に際しては、若い世代に希望と勇気を与えとともに、閉塞した社会に爽やかな流れをもたらすような作品を選ぶことを指針とし、全会員参加の投票によるなど評価のプロセスや方法も開かれたものとしています。第5回では、以下の6作品が学会賞を授賞しました。4月6日~11日には、ASJ UMEDA CELLにて作品展を開催。

受賞6作品(応募順)

Node Kanazawa/
樹齢670年 大湫の大杉/野中あつみ+三谷裕樹
後藤邸/後藤武+後藤千恵(大賞)

椎葉邸/萬代基介
笛吹みんなの広場/高橋一平
Grove(グローブ)/御手洗龍



Node Kanazawa

樹齢670年 大湫の大杉

後藤邸

椎葉邸

笛吹みんなの広場

Grove(グローブ)

これまでの受賞作

第1回(2015年度)
「四糸木製ビル/第15長谷ビル」
河井敏明
「西風の聲」桑原賢典
「石切の住居」島田陽(大賞)
「カトリック鈴鹿教会」
竹口健太郎+山本麻子
「日本キリスト教団東戸塚教会」
平田勇久
「裏庭の家」松岡聡+田村裕希

第2回(2017年度)
「Good Job! Center KASHIBA, Good Job! Center KASHIBA/STUDIO」
大西麻真+百田有希+東家志保(大賞)
「houseA/shopB」木村吉成+松本尚子
「舞多聞の家」畑友洋
「東京クラシッククラブ・森のクラブハウス」
馬主クラブ棟 古谷俊一
「Topological Folding House」山口隆
「ファミスペース」福増幼穂園新館 吉村靖孝(大賞)

第3回(2019年度)
「伊達の家」青木弘司
「UTSUROI TSUCHIYAANNEK」
畑田博之
「サンクグアネノイエ」桑田豪
「古澤邸」古澤大輔
「data2019」山田紗子(大賞)
「金峯神社」渡辺菊真

第4回(2021年度)
「湖月庵」芦澤竜一+陶器浩一
「House OS 3つ屋根の下」
神谷孝樹+石川翔一
「松原市民松原図書館」
高野洋平+森田祥子
「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」平瀬有人+平瀬祐子
「母國屋の家」畑友洋
「出窓の塔居」藤真彰+藤悠子(大賞)

Another Point of View建築を拡張する視座

2023年12月9日、大阪中之島美術館ホールで行われた建築家、構造エンジニア、哲学者、人類学者らが参加する5時間半に及ぶ連続トークセッション。それぞれのテーマについての異なる視座からの3つの対話と最後のセッションでの全登壇者による対話を通じて「公共」とはなにかという問題が浮上し、市民に開かれた場でのイベントならではの刺激的な対話が行われました。



セッションの様子

展覧会や講演会の企画/出版事業

機関誌『建築設計』の発行などの出版事業をはじめ、海外から著名な建築家を招いた講演会や、誰もが建築を親しむことのできるような展覧会を企画し、メディアとして建築という文化を発信しています。

「論考 建築設計」論文を募集します

「建築設計」という分野について幅広い論考を募り、理論から実践まで含めた考察を、適切な査読基準に従って学術論文として評価し、論文集「論考 建築設計」としてまとめています。